



# 環境配慮報告書 2024

東京エレクトロン宮城株式会社

# 環境についての考え方

東京エレクトロングループはTechnology for Eco Lifeの環境スローガンのもと、最先端の技術とサービスで、環境問題の解決を目指します。あらゆる事業活動において、環境負荷低減と地球環境保全を目指し、さらに生物多様性にも配慮した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

## 環境方針

東京エレクトロングループの環境方針を以下に示します。



### 1. 環境目標と継続的改善

環境目標を設定し、製品ライフサイクルの環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。



### 2. 法令等の遵守

環境関連の法令を遵守するだけでなく、環境問題を幅広く調査し、自主基準などを制定します。



### 3. 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境適合型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、環境問題の未然防止と改善に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。



### 4. 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的におこない、汚染の予防と環境保護に努めます。



### 5. 社会との連携・協力

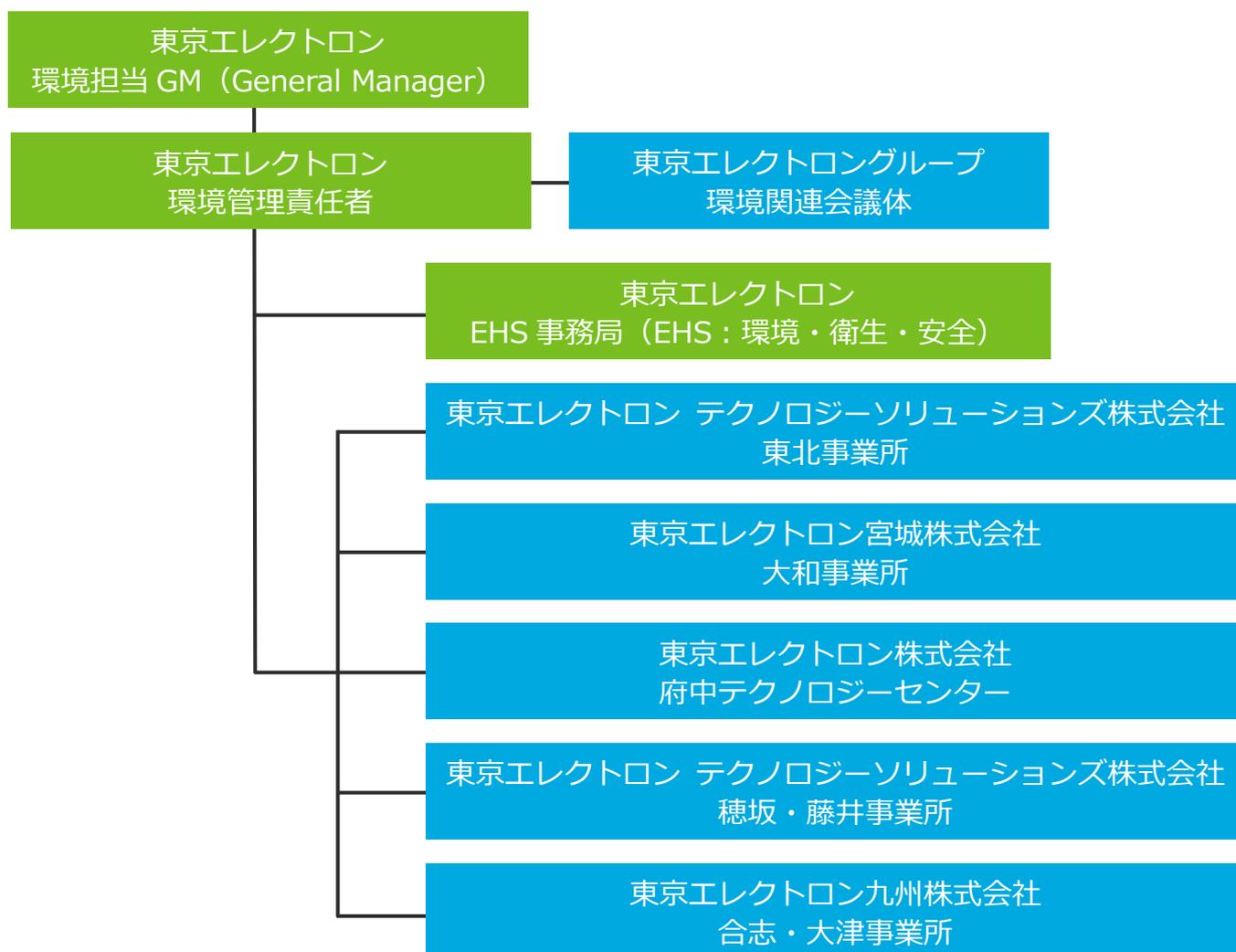
ステークホルダーとの共通理解のもと、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

2016年7月1日改訂

# 環境マネジメントシステム

## ISO14001

東京エレクトロングループの国内事業所は1998年5月にISO14001の認証を取得し、2017年3月には一括認証に移行しました。これにより、下図に示す体制にて各事業所が集まって環境マネジメントシステムの対応方針を決定するとともに、グループ内で統一したフォーマットを使用した環境マネジメントシステムの運用をおこなっております。2023年度に当社は外部機関によるISO14001の監査を受けました。監査結果に不適合項目はなく、認証継続となっております。



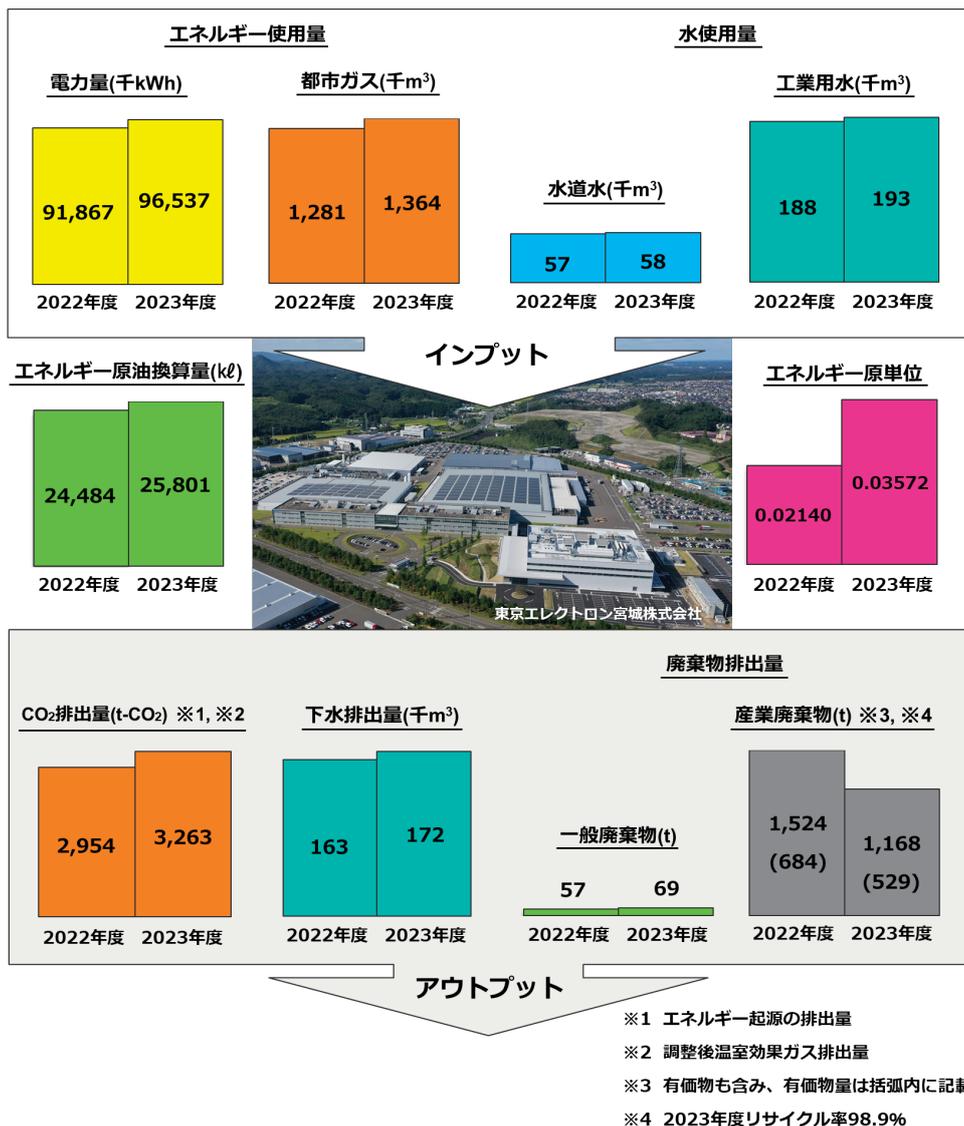
## 第三者保証

環境情報のデータ管理の精度向上や報告内容の信頼性向上のため、環境データ（エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量、水使用量など）について、第三者による保証を受けています。

# 2023年度 東京エレクトロン宮城 環境データ報告

2023年度の環境負荷・環境配慮についてご報告いたします。

当社の省エネルギー活動を推進するために Green Project を発足しました。開発評価機を使用しない時間帯に温調機能を自動停止するメンテナンスマクロの開発と評価機への展開をおこない、クリーンルームの消費電力を10%以上削減することに成功しました。この取り組みが東京エレクトロングループの「仕事の中のサステナビリティ」での優れた取り組みとして認められ TEL Sustainability Award の環境賞を受賞いたしました。開発体制の強化も継続しており、高パワーでのエッチング評価を可能とするため、既存評価機のアップグレードをおこないました。このため消費電力量は2022年度に比べて5.1%の増加となりましたが、2022年度の消費電力量は2021年度に比べて10.3%の増加であるため、Green Project の取り組みにより消費電力量の増加を抑制しました。2023年度は半導体市場が調整局面となり生産台数が低下したため、エネルギー原単位は66.9%の増加となりました。当社はさらなる成長を見据え、2025年春には新開発棟の竣工を予定しています。今後も環境に配慮した事業活動をおこなってまいります。



## 環境活動

### 東京エレクトロンの森 森づくり活動

2023年度も『みやぎの里山林協働再生支援事業』に参画し、従業員とその家族にも参加していただく形で大和町宮床の『東京エレクトロンの森』の森づくり活動を2回に増やして5月と11月におこないました。5月は参加者60名でオオシマザクラを20本、ハンノキを10本、キブシを6本植樹しました。11月は参加者97名でミズキ、オニグルミ、マユミ、ヤマブキ、ヤマザクラを各10本ずつ植樹しました。植樹のほかに森の整備のために枯損木の除伐、橋づくり、遊歩道の整備もおこないました。植樹後は自然の材料を使って工作をするネイチャークラフト活動をおこないました。



Source:東京エレクトロン

### 生物多様性活動 ヤギによる除草

ヤギによる敷地内の除草活動も継続しています。2022年度に除草をおこなったヤギに継続して来ていただき6月と9月に除草活動をおこないました。生後2年目ですが身体も大きくなっており、1日に除草できる量も増えました。従業員を警戒することもなく、ヤギの方から積極的に従業員に近づいてきておりました。



Source:東京エレクトロン

## 食廃油のバイオディーゼル燃料化

社内食堂から排出された廃油をバイオディーゼル燃料（BDF）の原料とするために提供する活動も継続しています。2023年度は食堂廃油2,283ℓを提供しました。BDFが含まれているB5系燃料を12,000ℓ給油し発電に使用しました。

## デマンドレスポンス

2023年度は電力会社からのデマンドレスポンスの発動要請がありませんでしたが、要請を受けた場合には協力できるように体制を整えております。

## 産業廃棄物管理票の完全電子化

廃棄物の処理及び清掃に関する法律にて定められている産業廃棄物の処理を業者に委託する際に交付が必要となる産業廃棄物管理票（マニフェスト）ですが、当社では一部の廃棄品において紙マニフェストを使用しておりました。これらの廃棄物の収集運搬と処分を委託する業者にWebシステムを使用する電子マニフェストに切り替えることの提案と運用の調整をおこない、2023年10月に完全に電子マニフェストに移行させ、より厳格な廃棄物管理の実現をおこないました。

## トヨタ自動車東日本株式会社様とのエネルギー管理者交流会

宮城県および関係市町村との間で環境配慮基本協定を締結しているトヨタ自動車東日本株式会社様の宮城大衡工場にうかがわせていただきエネルギー管理者どうしで交流会をおこないました。当社と同じカーボンニュートラルの目標を掲げておりましたが、異業種であるため工場設備が異っており、目標実現のための課題点の違いを共有することができました。今後もカーボンニュートラル実現のための情報交換をおこなってまいります。

---

東京エレクトロン宮城株式会社 環境安全推進室

〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ 1 番

☎ : 022-346-3111

URL : <https://www.tel.co.jp/about/locations/tml.html>

発行 : 2024 年 6 月

